

・「こどものまち」をやろうとしたきっかけ、動機

2004年の夏に四日市の諏訪栄商店街に隣接する「すわ公園」と「すわ公園交流館」でこどもの集まるイベントの開催をメリーゴーランドが依頼される。

・準備から参画している子どもたちは、??人、(年齢層別に)

2003年11月から「こども四日市探検隊」と称して市内の小学生10人と、月に1回こどものまちについてのワークショップを行う。

2006年から、中学生が1人、2007年から大学生3人が加わり、探検隊と一緒に活動している。

・子どもたちを、どう集めるかへの工夫、悩み

・こども四日市当日：市内の小学校の全生徒へのチラシの配布。市の広報。地元のケーブルテレビ、新聞等のニュースとしての取材。

初回の、2003年から、予想を上回る参加者数で、準備物が足らなくなり、入場制限(1日/600人)をすることになった。

以降は、1000人規模で、準備をしている。

・より主体的に参画してもらうための工夫、悩み

2003年は、公園に段ボールで家を作るルールにしたのだが、「フリーマーケットがしたいだけなんだけど・・・」との意見があり、2004年からは、商店街の通りでフリーマーケットも開催する。

仕事に就けなかった子どものために、看板を探す「まちなかクイズ」を実施。

2006年は、ひまで口出ししたくなる大人も「まちなかクイズ」に参加できるようにする。

こども四日市でかせいだ通貨(ヨー)を使えるイベントを月1回開催している。